

EU Indicators

欧州経済指標コメント：6月ユーロ圏PMI指数(速報)

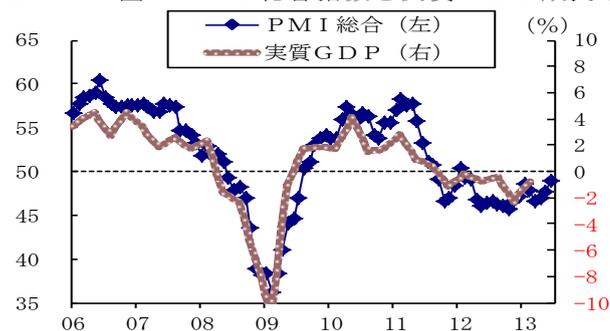
発表日：2013年6月21日(金)

～景気の悪化ペースに歯止め～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

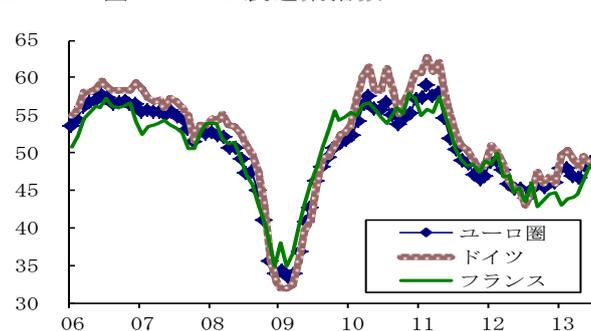
- 20日に発表された6月のユーロ圏のPMI総合指数(速報値)は48.9と前月(47.7)から落ち込みが縮小。17ヶ月連続で好不況の分岐点である50を下回っているが、昨年3月以来の水準に復帰し、経済活動の悪化ペースに歯止めが掛かってきた。発表元のMarkitによれば、同指数の水準からは4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率が前期比▲0.2%程度の落ち込みになったことが示唆される(左図)。ただ、1-3月期の成長率が歴史的な寒波で下振れしていたことや、最近ではPMI指数が示唆するよりも実際の成長率の上振れる傾向にあり、4-6月期の成長率は前期比横這い圏に回復する可能性がある。
- 国別・業種別の内訳は(右図・表)、ドイツで輸出受注の悪化を主因に製造業が小幅低下した一方、サービス業が3ヶ月振りに50を上回った。足許のユーロ高傾向や同日発表された中国のPMI指数が悪化するなど、輸出環境の悪化が製造業の業況悪化につながった模様。一方、フランスでは製造業が昨年2月以来、サービス業が昨年8月以来の水準に復帰。製造業・サービス業ともに分岐点割れが続いているものの、悪化ペースが緩和した。その他ユーロ圏(イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャが調査対象)も、今年に入ってから悪化ペースが底打ち傾向にある。
- ユーロ圏の景気に今のところ明確な持ち直しの兆しは広がっていないものの、悪化ペースには歯止めが掛かってきている。回復の動きは脆弱で、7-9月期以降の最失速の恐れもあるものの、今回のPMI指数の悪化ペースの緩和からは、ECBがひとまず様子見姿勢を続けることが示唆される。

■ユーロ圏：PMI総合指数と実質GDP成長率



注：実質GDP成長率は前期比年率。
 出所：Markit、Eurostat

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■PMI指数(季節調整済み)

	2012		2013		2012		2013					
	3Q	4Q	1Q	2Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ユーロ圏 総合産出指数	46.3	46.5	47.7	47.8	46.5	47.2	48.6	47.9	46.5	46.9	47.7	48.9
ユーロ圏 製造業PMI指数	45.1	45.9	47.5	47.9	46.2	46.1	47.9	47.9	46.8	46.7	48.3	48.7
ユーロ圏 サービス業業況指数	47.1	46.8	47.6	47.6	46.7	47.8	48.6	47.9	46.4	47.0	47.2	48.6
ドイツ 製造業PMI指数	45.0	46.3	49.7	48.7	46.8	46.0	49.8	50.3	49.0	48.1	49.4	48.7
ドイツ サービス業業況指数	49.4	50.0	53.8	50.2	49.7	52.0	55.7	54.7	50.9	49.6	49.7	51.3
フランス 製造業PMI指数	44.0	44.3	43.6	46.4	44.5	44.6	42.9	43.9	44.0	44.4	46.4	48.3
フランス サービス業業況指数	48.1	45.2	42.9	45.0	45.8	45.2	43.6	43.7	41.3	44.3	44.3	46.5

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。